

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-188962

(43)Date of publication of application : 08.07.1994

(51)Int.Cl.

H04M 1/272

(21)Application number : 04-338398

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 18.12.1992

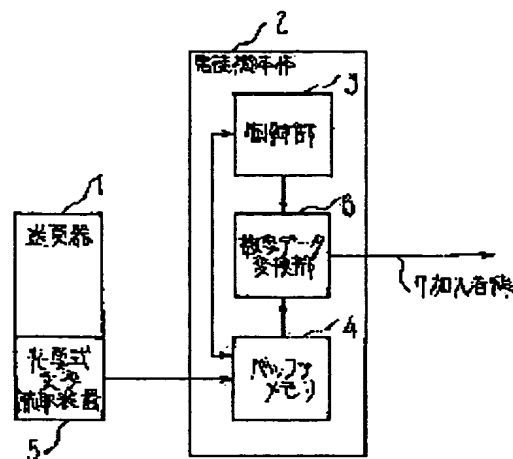
(72)Inventor : NAKAMURA TERUO

(54) TELEPHONE SYSTEM WITH OPTICAL CHARACTER READER

(57)Abstract:

PURPOSE: To designate the called party automatically by using the optical character reader(OCR) so as to read a called party telephone number from a telephone directory or an address book.

CONSTITUTION: The telephone user hooks off a handset 1 to use an optical character reader(OCR) 5 thereby reading a numeral string representing a telephone number of a called party (the numeric string is a coded string in terms of bar codes or a numeral string hand-written or printed) from a telephone directory or an address book to output numeral data. A control section 3 detecting off-hook gives a command to a buffer memory 4 to store tentatively numeral string data read by the optical character reader 5. A numeral data conversion section 6 started by the control section 3 upon the receipt of the end of storage of numeral data from the buffer memory 4 reads the numeral data in the buffer memory 4 and converts the data into a telephone number and it is sent to a subscriber line 7.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

25.12.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

15.12.1998

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-188962

(43)公開日 平成6年(1994)7月8日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 M 1/272

識別記号

庁内整理番号

7190-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-338398

(22)出願日 平成4年(1992)12月18日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 中村 輝男

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式
会社内

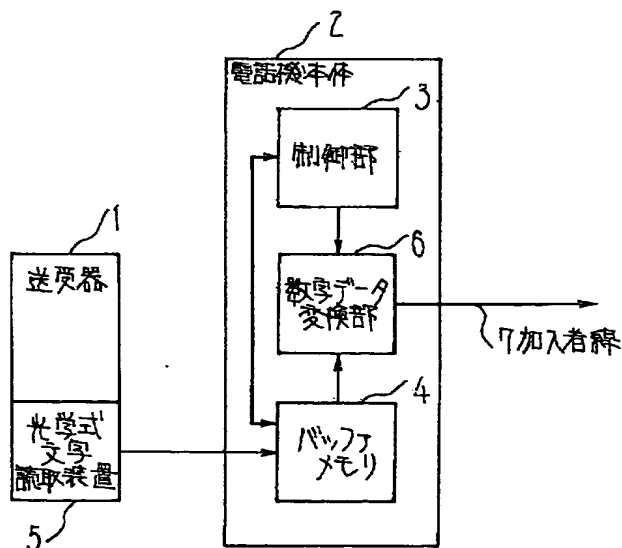
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 光学式文字読取装置付き電話方式

(57)【要約】

【目的】 電話帳やアドレス帳から被呼者電話番号を光学式文字読取装置(OCR)で読み取って自動的に被呼者を指定することができるようにする。

【構成】 電話利用者が送受器1をオフフックして光学式文字読取装置(OCR)5によって電話帳やアドレス帳から被呼者の電話番号を示す数字列(この数字列はバーコード等にコード化されたものでも、手書きまたは印刷された算用数字列でもよい)を読み取って数字列データを出力する。オフフックを検出した制御部3はバッファメモリ4に指示して光学式文字読取装置5が読み取った数字列データを一時蓄積させる。バッファメモリ4から数字列データの蓄積終了の通知を受けた制御部3によって起動された数字データ変換部6はバッファメモリ4内の数字列データを読み出して電話番号に変換して加入者線7へ送出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 光学式文字読取装置を付加した送受器と、電話機本体とからなり、前記電話機本体は前記光学式文字読取装置が読み取った数字列データを一時蓄積するバッファメモリと、このバッファメモリ内の前記数字列データを電話番号に変換する数字データ変換部と、この数字データ変換部から加入者線への前記電話番号の送出制御を行う制御部とを備えることを特徴とする光学式文字読取装置付き電話方式。

【請求項2】 前記光学式文字読取装置は被呼者電話番号を示すコード化された数字列を読み取ることを特徴とする請求項1記載の光学式文字読取装置付き電話方式。

【請求項3】 前記光学式文字読取装置は被呼者電話番号を示す手書きの数字列を読み取ることを特徴とする請求項1記載の光学式文字読取装置付き電話方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はコード化されているかまたは手書きの相手先電話番号を光学式文字読取装置を用いて読み取ることにより被呼者を特定する光学式文字読取装置（OCR）付き電話方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の電話機では、手で数字ボタンを押下することにより相手先電話番号を入力していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この従来の電話機による相手先電話番号指定方法では、何桁もの数字を1つ1つダイヤルしなくてはならなかったので、数字の押し間違いや相手先電話番号の記憶違い等を犯し易いばかりでなく、ダイヤル操作に手間がかかるという問題点があった。

【0004】 本発明の目的は、電話帳やアドレス帳から被呼者電話番号を光学式文字読取装置（OCR）で読み取って自動的に被呼者を指定することができる光学式文字読取装置付き電話方式を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の光学式文字読取装置付き電話方式は、光学式文字読取装置を付加した送受器と、電話機本体とからなり、前記電話機本体は前記光学式文字読取装置が読み取った数字列データを一時蓄積するバッファメモリと、このバッファメモリ内の前記数字列データを電話番号に変換する数字データ変換部と、この数字データ変換部から加入者線への前記電話番号の送出制御を行う制御部とを備えている。

【0006】 そして、前記光学式文字読取装置は被呼者電話番号を示すコード化された数字列を読み取るものであってもよいし、手書きの数字列を読み取るものであってもよい。

【0007】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0008】 図1は本発明の光学式文字読取装置付き電話方式の一実施例を示すブロック図である。

【0009】 本実施例は図1に示すように、光学式文字読取装置5を付加した送受器1と、電話機本体2とからなり、電話機本体2は光学式文字読取装置（OCR）5が読み取った数字列データを一時蓄積するバッファメモリ4と、このバッファメモリ4内の数字列データを電話番号に変換する数字データ変換部6と、この数字データ変換部6から加入者線7への電話番号の送出制御を行う制御部3とを備えている。

【0010】 続いて本実施例の動作について説明する。

【0011】 電話利用者が送受器1をオフフックして光学式文字読取装置（OCR）5によって電話帳やアドレス帳から被呼者の電話番号を示す数字列（この数字列はバーコード等にコード化されたものでも、手書きまたは印刷された算用数字列でもよい）を読み取って数字列データを出力する。

【0012】 オフフックを検出した制御部3はバッファメモリ4に指示して、光学式文字読取装置5が読み取った数字列データを一時蓄積させる。

【0013】 バッファメモリ4から数字列データの蓄積終了の通知を受けた制御部3は数字データ変換部6を起動し、数字データ変換部6はバッファメモリ4内の数字列データを読み出して電話番号に変換して加入者線7へ送出する。

【0014】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、相手先電話番号をあらかじめコード化または手書きしておくかあるいは印刷しておく、この相手先電話番号を光学式文字読取装置（OCR）を用いて読み取って被呼者電話番号を自動的に指定できるようにしたので、間違い電話をする危険性が無くなり、またダイヤル操作時間も短縮されるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の光学式文字読取装置付き電話方式の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 送受器
- 2 電話機本体
- 3 制御部
- 4 バッファメモリ
- 5 光学式文字読取装置（OCR）
- 6 数字データ変換部
- 7 加入者線

【図1】

